

自由で開かれたインド太平洋 (FOIP) 実現に向けた国際協力の現状と今後

第148回運輸政策コロキウム
ワシントンレポートXIII
2022年2月1日

Supported by  日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION

発表項目

- 第1章 自由で開かれたインド太平洋
- 第2章 海上保安庁のミッション
- 第3章 海上保安庁の国際業務と支援活動
- 第4章 ASEANにおける中国の経済的プレゼンス
- 第5章 米国による支援活動
- 第6章 まとめ(提言)

第1章 自由で開かれた太平洋

自由で開かれたインド太平洋 (Free and Open Indo-Pacific)

「地球儀を俯瞰する外交」

国際協調主義に基づく「積極的平和主義」

安倍政権の実績を踏まえ、これらの外交コンセプトを更に発展させる

自由で開かれたインド太平洋

国際社会の安定と繁栄の鍵を握るのは、

「2つの大陸」：成長著しい「アジア」と潜在力溢れる「アフリカ」

「2つの大洋」：自由で開かれた「太平洋」と「インド洋」

の交わりにより生まれるダイナミズム

⇒ これらを一体として捉えることで、新たな日本外交の地平を切り拓く

アフリカ

- 高い潜在性
 - ・人口約13億人（世界の17%）
→2050年には25億人との予測
 - ・面積3000万km²（世界の22%）
 - ・高い経済成長率（2000~16年の平均は4.8%）
 - ・豊富な資源と有望な市場
- ⇒「成長大陸」として飛躍する中、
貧困・テロ等の課題あり

アフリカ諸国に対し、開発面に加えて政治面・ガバナンス面でも、押しつけや介入ではなく、オーナーシップを尊重した国造り支援を行う

- ◆ **インド太平洋地域は、海賊、テロ、大量破壊兵器の拡散、自然災害、現状変更等の様々な脅威に直面。このような状況下において、日本は、法の支配を含むルールに基づく国際秩序の確保、航行の自由、紛争の平和的解決、自由貿易の推進を通じて、インド太平洋を「国際公共財」として自由で開かれたものとする**ことで、この地域における**平和、安定、繁栄の促進を目指す。**



アジア

- 東南アジア及び南アジアでは民主主義・法の支配・市場経済が根付き、自信・責任・リーダーシップの目覚めあり
- ⇒ 今や「世界の主役」たるアジアの成功を、自由で開かれたインド太平洋を通じてアフリカに広げ、その潜在力を引き出す

ASEAN地域の連結性を向上させることで、質の高いインフラ整備、貿易・投資の促進、ビジネス環境整備、人材育成強化を図る。ASEANの成功を、中東・アフリカ等の地域に広げる

出典：外務省、「自由で開かれたインド太平洋の基本的な考え方の概要資料」, <https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/000430631.pdf>

自由で開かれたインド太平洋

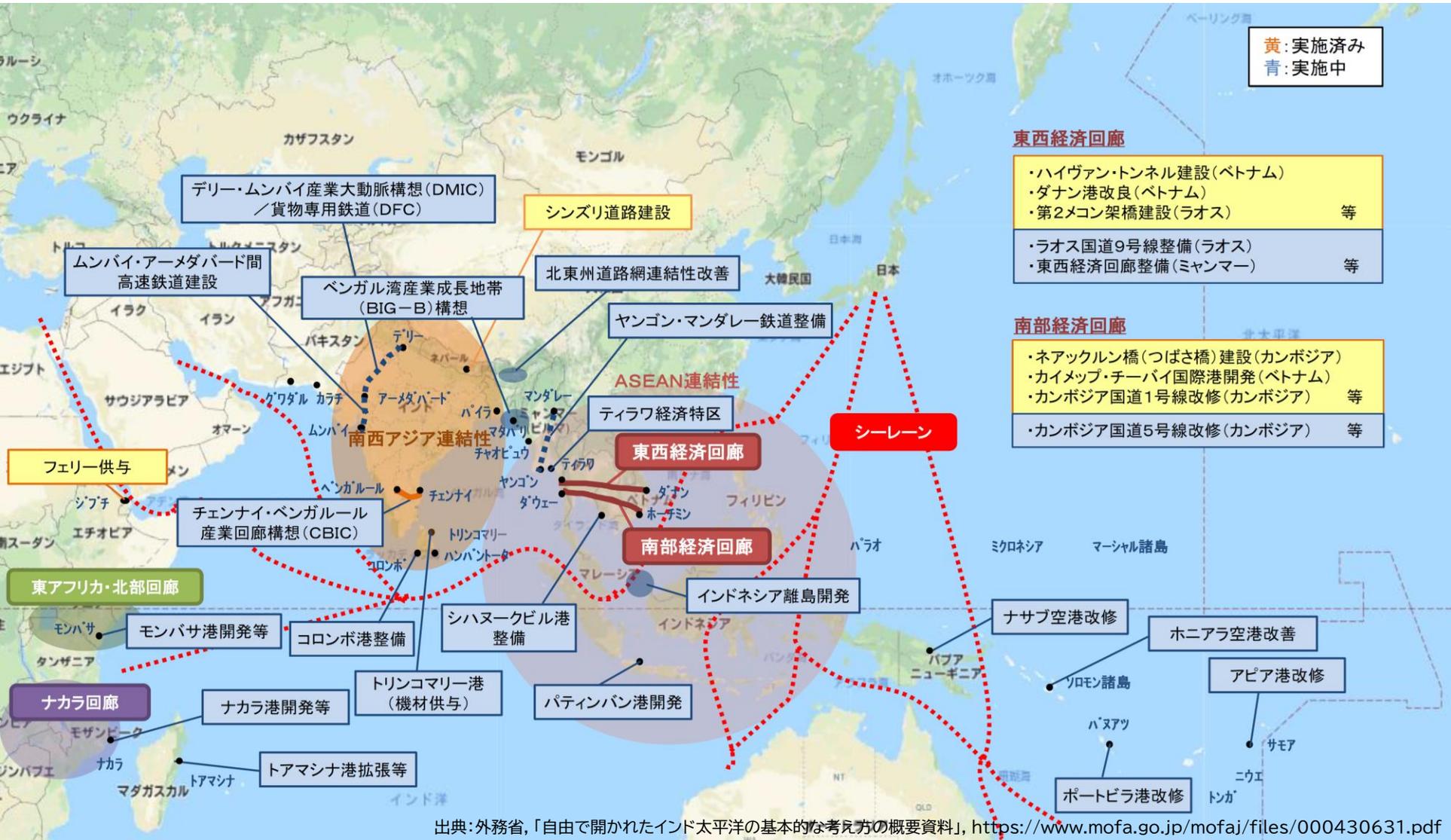
「自由で開かれたインド太平洋」の実現のための日本の取組の三本柱

- ① **法の支配、航行の自由、自由貿易等の普及・定着**
- ② **経済的繁栄の追求**
(連結性, EPA/FTAや投資協定を含む経済連携の強化)
- ③ **平和と安定の確保**
(海上法執行能力の構築, 人道支援・災害救援等)

法の支配・平和と安定の確保

- 自由で開かれたインド太平洋の基本原則や考え方を共有する各国との協力
⇒ 法の支配に基づく自由で開かれた海洋秩序を維持・発展させることは不可欠
- インド太平洋沿岸国への能力構築支援
⇒ 海上法執行能力や海洋状況把握(MDA)能力の強化、人材育成 等
- 海賊対策, テロ対策, 不拡散分野等での協力大量破壊兵器等の拡散阻止

日本の連結性構想



出典: 外務省, 「自由で開かれたインド太平洋の基本的な考え方の概要資料」, <https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/000430631.pdf>

アセアン・インド地域事務所

ASEAN-India Regional Office (AIRO)(2021年4月に事務所をバンコクに開設)

活動方針

(1)アセアン・インド地域、**日本及び北米を俯瞰した広域的かつ戦略的な視点に立脚し**、研究所の各拠点間の連携も踏まえ、アセアン・インド地域において**運輸・観光分野の発展を図ることを通じ、より豊かな社会を創出することに貢献する。**

(2)アセアン・インド地域が運輸・観光分野で直面している課題及び将来抱えることとなる課題の解決に向け、学術・実務両面における協力を実施することを通じ、現地において実感できる成果をあげる。

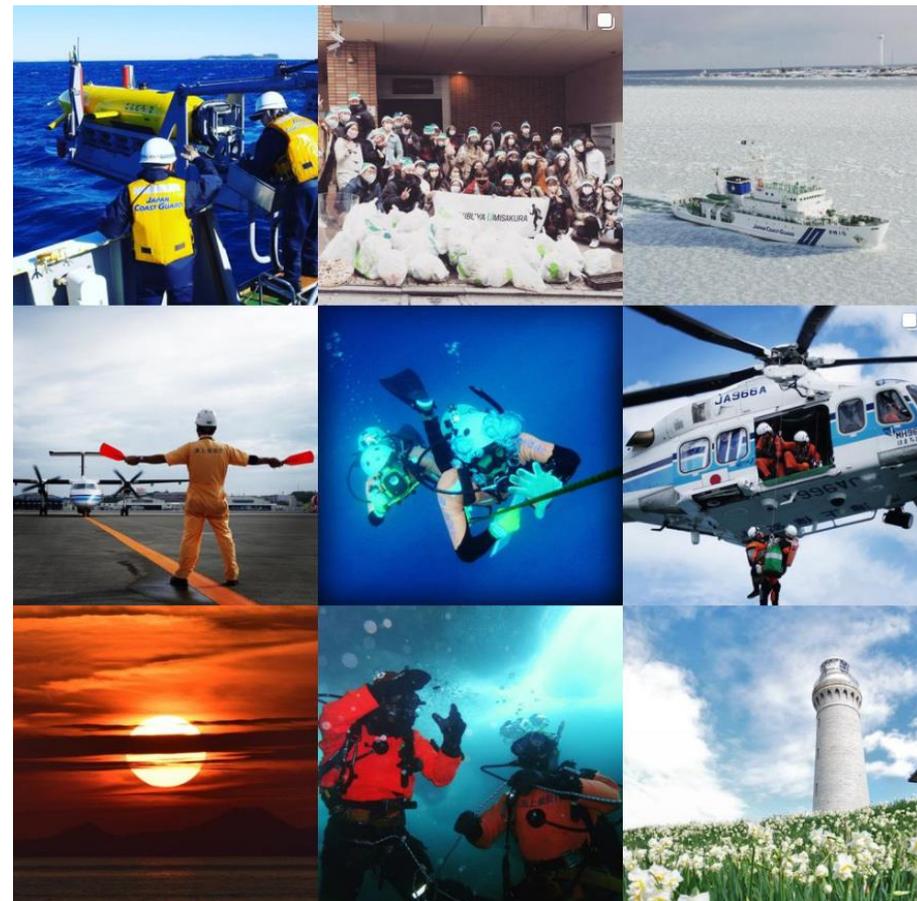
(3)アセアン・インド地域及び日本の官民双方の関係者間における運輸・観光分野における交流・連携・協働を促進することを通じ、両者間の永続的な友好関係・信頼関係を構築する。



第2章 海上保安庁のミッション

海上保安庁の任務

- 治安の確保
- 領海警備
- 海難救助
- 海上環境
- 災害対策
- 海洋調査
- 海上交通の安全
- 国際関係



出典:海上保安庁, <https://www.kaiho.mlit.go.jp/soshiki/sns-account.html>

海上保安庁の勢力・予算・定員

海上保安庁提供

勢力

(令和3年12月1日現在)

○ 船艇..... 475 隻



石垣海上保安部
巡視船 PLH35 あさづき

内 訳	巡視船艇	382隻
	(うち大型巡視船	70隻)

○ 航空機..... 88 機



那覇航空基地
MAJ573 ちゅらたか

内 訳	飛行機	35機
	ヘリコプター	53機

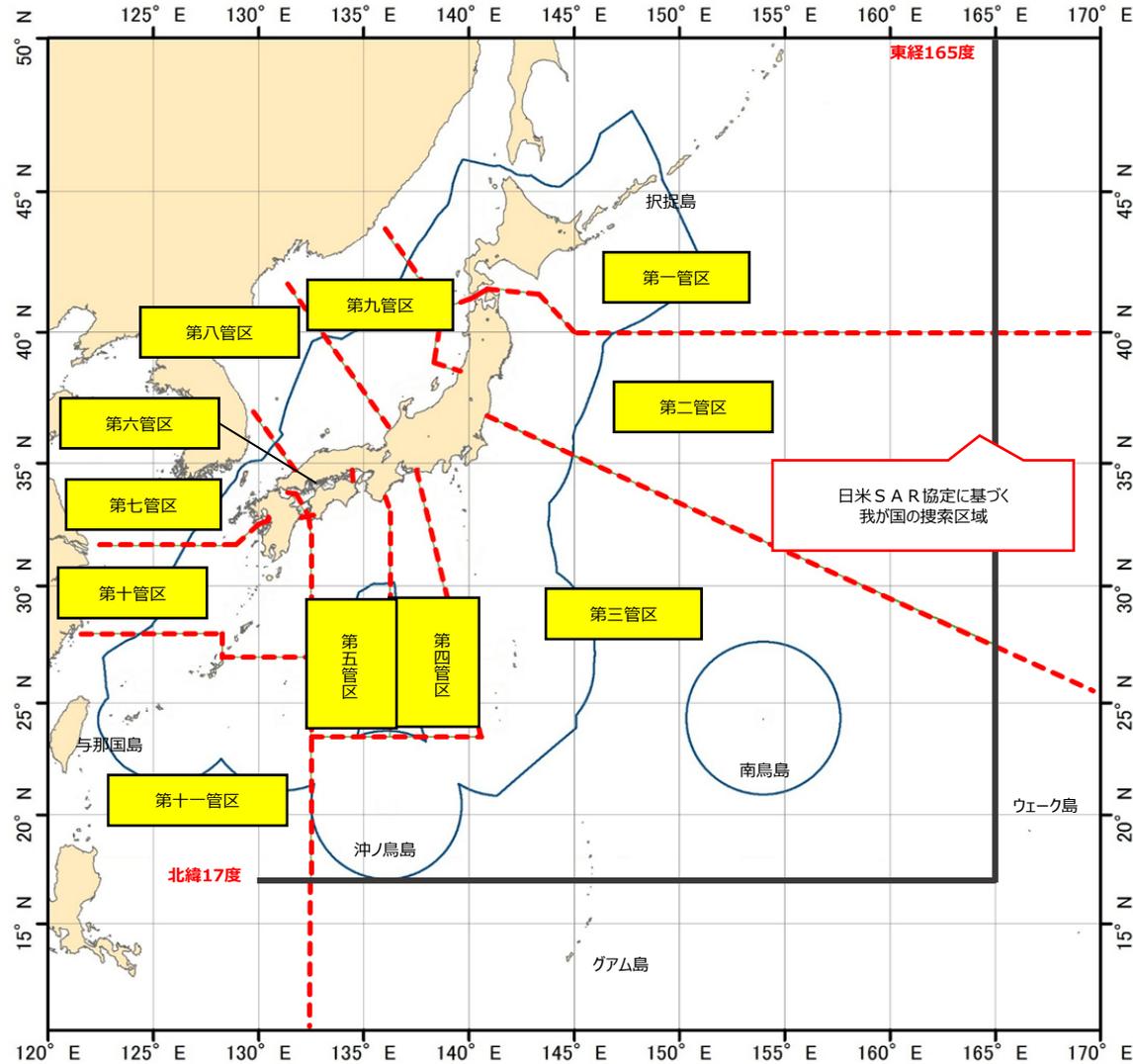
予算及び定員

○ 予算..... 2,226 億円 (令和3年度予算)

○ 定員..... 14,427 人 (令和3年度末現在)

海上保安庁の組織・勢力

各管区 担任水域図



海上保安庁提供

第3章 海上保安庁の国際業務と 支援活動

多国間の連携・協力

海上保安庁提供

北太平洋海上保安フォーラム（NPCGF）

- ・北太平洋における海上の秩序維持のため、主要6か国（日、加、中、韓、露、米）の海上保安機関が参加。
- ・漁業監視共同パトロール、多国間多目的訓練等を実施。



第21回長官級会合(2021.9)

アジア海上保安機関長官級会合（HACGAM）

- ・アジアでの海上保安業務に関する地域的な連携強化を図るため、我が国主導により21か国1地域の海上保安機関が参加。
- ・2004年に東京において第1回会合を開催後、毎年開催。



第15回長官級会合(2019.10)

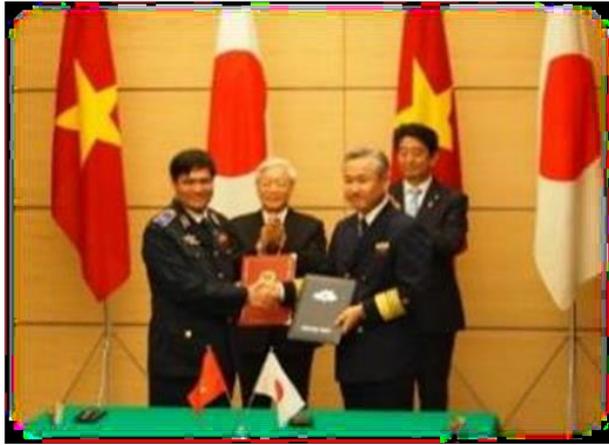
世界海上保安機関長官級会合（CGGS）

- ・地球規模の環境変化とそれに起因する課題に対し力を結集して取り組むため、日本財団と共催。
- ・84の海上保安機関等が参加。



第2回長官級会合(2019.11)

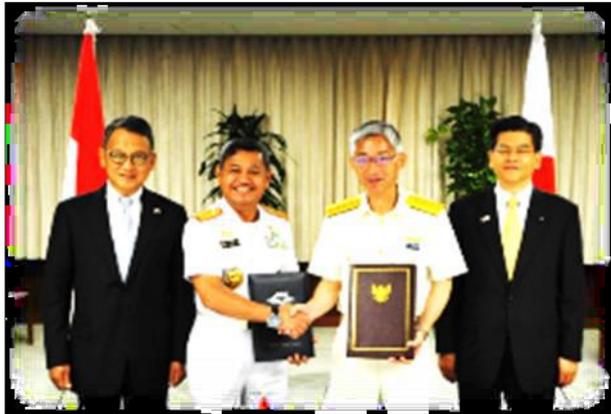
外国海上保安機関との二国間連携、取組 (ASEAN)



ベトナムとの覚書締結



フィリピンとの覚書締結



インドネシアとの覚書締結



米国沿岸警備 (USCG)
との合同訓練

海上保安庁提供

各国海上保安機関への支援手法

海上保安庁提供



参加者(海上保安庁とスリランカ沿岸警備庁等)



巡視船などの「モノ」とアセットを運用する「ヒト」を対象とした支援を展開

フィリピンへの巡視船供与



中型巡視船(全長44メートル)×10隻

出典: 在フィリピン日本国大使館, 羽田大使の44m級巡視船就役式及び小型高速ボート引渡式の出席, https://www.ph.emb-japan.go.jp/itpr_ja/00_000514.html



大型巡視船(94m級)×2隻

出典: Naval News, Here Is The Philippine Coast Guard Future Patrol Vessel Under Construction In Japan, <https://www.navalnews.com/naval-news/2020/07/here-is-the-philippine-coast-guard-future-patrol-vessel-under-construction-in-japan/>



15m級高速ボート×13隻

出典: 在フィリピン日本国大使館, 中田公使のフィリピン沿岸警備隊に対する15m級高速ボート引渡式典の出席, https://www.ph.emb-japan.go.jp/itpr_ja/00_001024.html

- | | |
|------|--------------------|
| 2018 | 44m級10隻(供与済) |
| 2019 | 15m級高速ボート×13隻(供与済) |
| 2022 | 94m級2隻(予定) |

ベトナムへの巡視船供与



日本政府が供与した中古船
ベトナムコーストガード巡視船
「CSB6001」



日本政府が供与した中古船
ベトナムコーストガード巡視船
「CSB6003」

円借款(円借款額約366億円)により、
新造巡視船(80メートル型多目的船)6隻が
供与される予定

東南アジアにおける支援活動

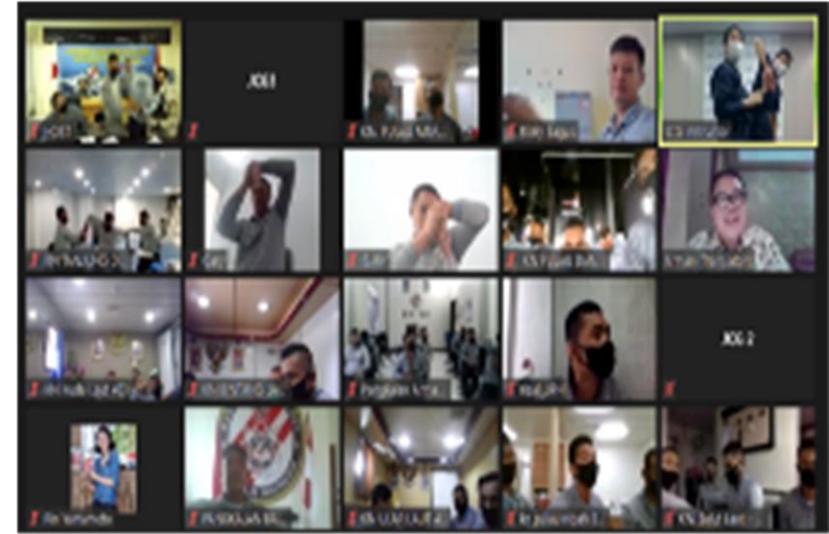


出典:外務省,「海における法の支配」, <https://www.youtube.com/watch?v=ITcc8RBq-I4>

技術支援の内容

海上保安庁提供

- 海上法執行(船舶立入検査等)
- 捜索救助
- 油防除
- 船艇維持管理
- 海上保安業務に関する講義
- 技術支援に関する協議



海上法執行オンライン研修 (インドネシア)



船舶立入検査訓練 (パラオ)



油防除資機材取扱訓練 (スリランカ)

海上保安庁モバイルコーポレーションチーム (MCT)

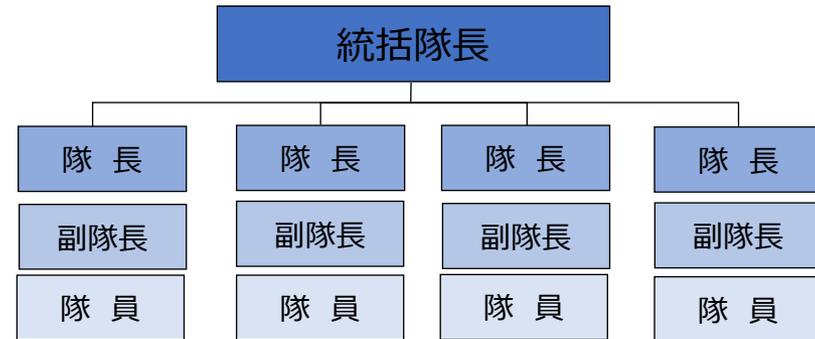
技術指導等の支援要請
の質的向上・量的増加



2017年 外国海上保安
機関の能力向上支援の
専従部門を発足

※ 派遣実績：14か国51回

海上保安庁モバイルコーポレーションチーム (MCT)



海上保安政策プログラム

海上保安庁提供

海洋の安全確保に向けた各国の連携協力、認識共有を図るため、2015年、海上保安政策に関する修士レベルの教育を行う

「海上保安政策プログラム」(Maritime Safety and Security Policy Program)

を開講。アジア諸国の海上保安職員を受け入れて能力向上支援を実施。



国別
参加実績



第4章 ASEANにおける中国の経済的 プレゼンス

南シナ海における各国の権利主張海域



Exclusive economic zone claims
That countries believe they are entitled to under UN Convention on the Law of the Sea

- Philippines
- Vietnam
- Malaysia
- Brunei
- Indonesia

出典: The Economist, 「China has militarised the South China Sea and got away with it」,
<https://www.economist.com/asia/2018/06/21/china-has-militarised-the-south-china-sea-and-got-away-with-it>

Reclamation work by:

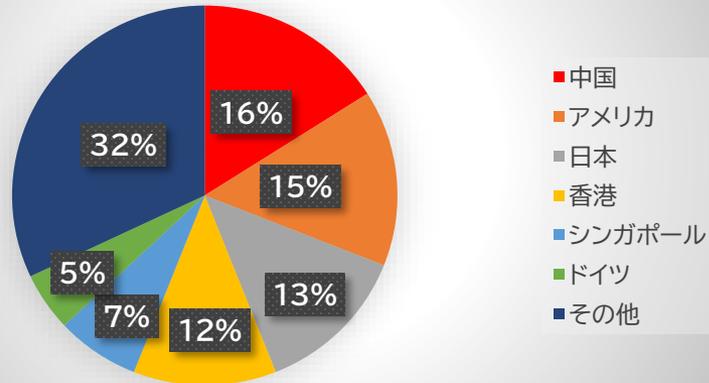
- China
- Taiwan
- Philippines
- Vietnam
- Malaysia
- ✈ Airstrips

Sources: amti.csis.org; janes.com; lawfareblog.com

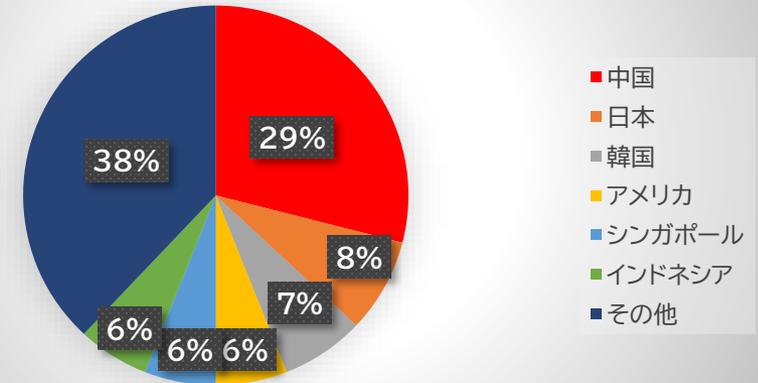
主要な輸出入相手国

出典: CIA - The World Factbook (<https://www.cia.gov/the-world-factbook/>) 掲載データをもとに発表者作成

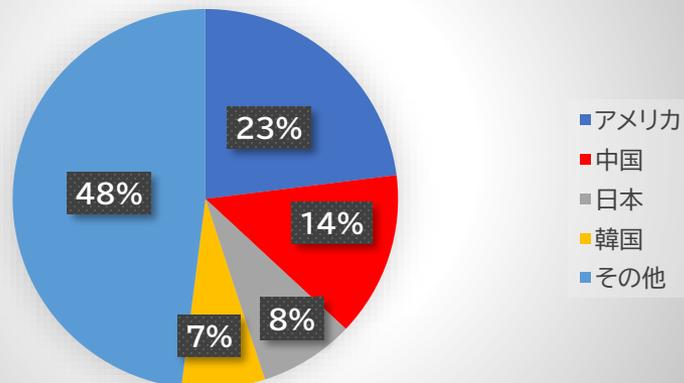
フィリピン輸出相手国(2019)



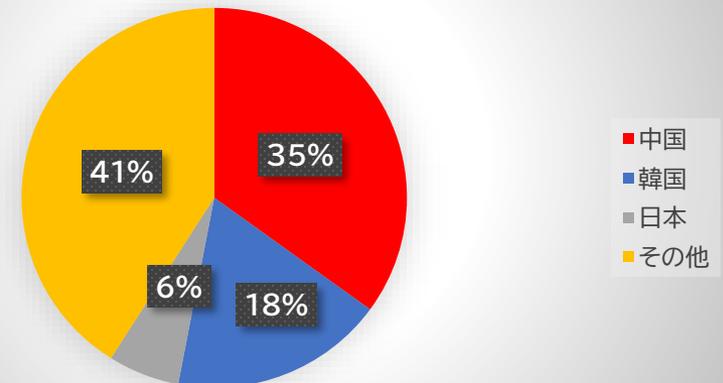
フィリピン輸入相手国(2019)



ベトナム輸出相手国(2019)



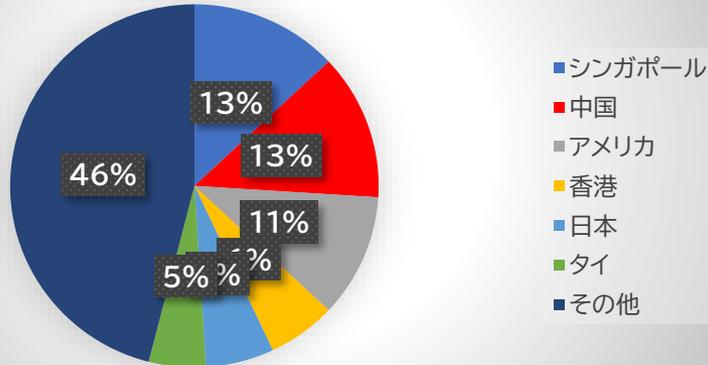
ベトナム輸入相手国(2019)



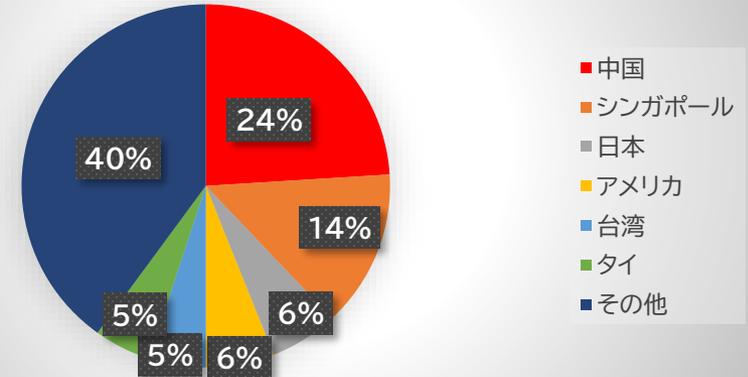
主要な輸出入相手国

出典: CIA - The World Factbook (<https://www.cia.gov/the-world-factbook/>)掲載データをもとに発表者作成

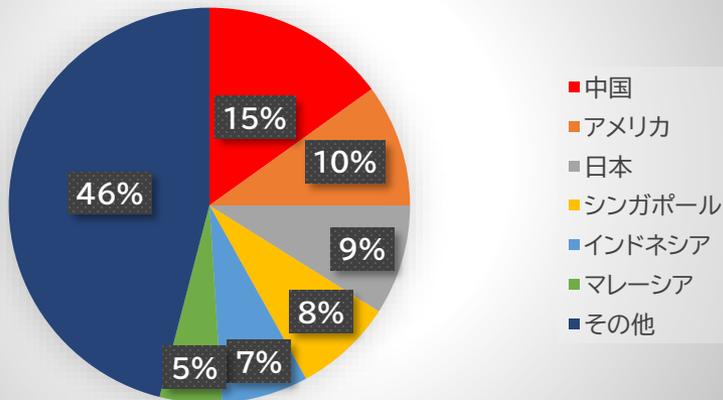
マレーシア輸出相手国(2019)



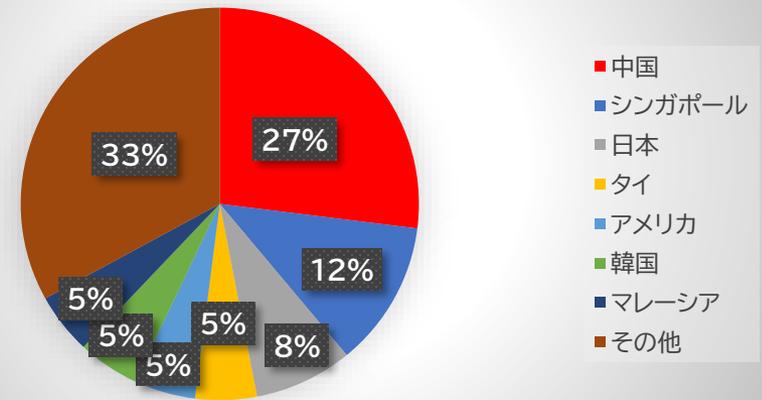
マレーシア輸入相手国(2019)



インドネシア輸出相手国(2019)



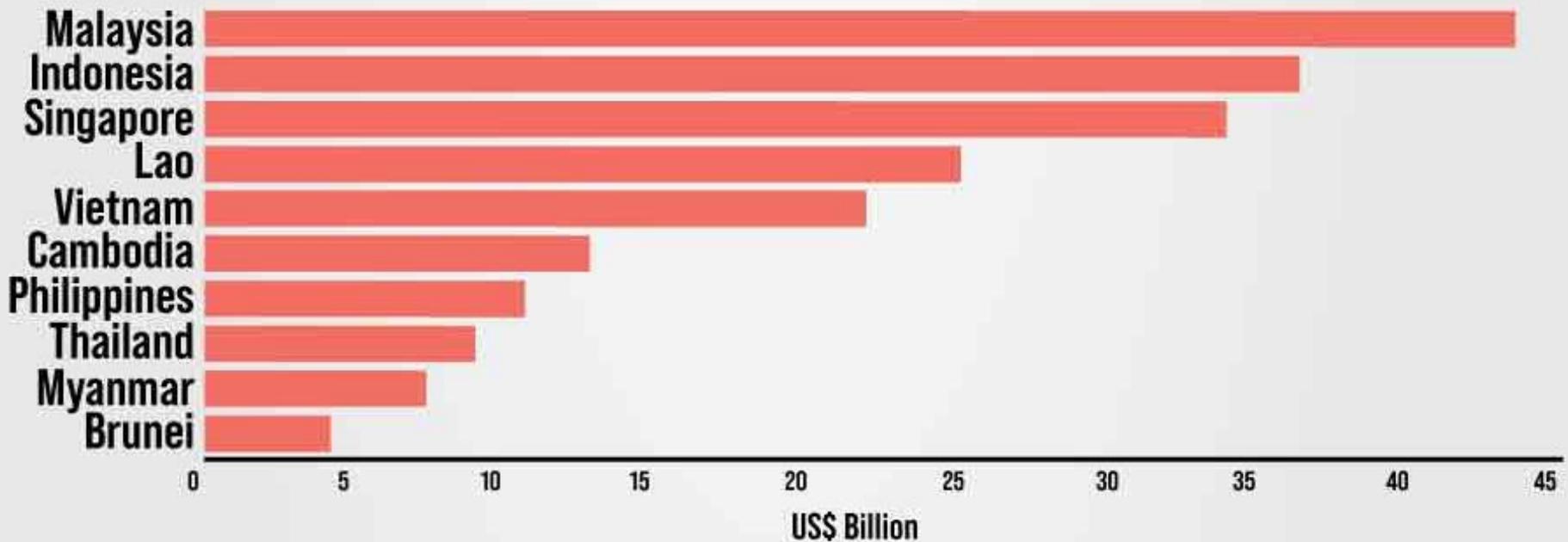
インドネシア輸入相手国(2019)



ASEANにおける一帯一路

(BRI: Belt and Road Initiative)

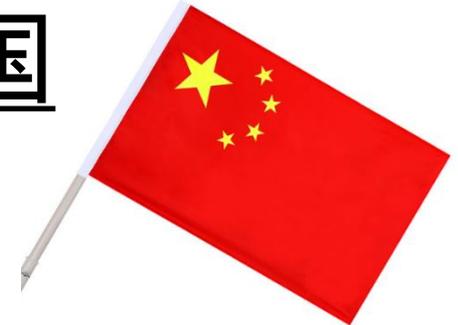
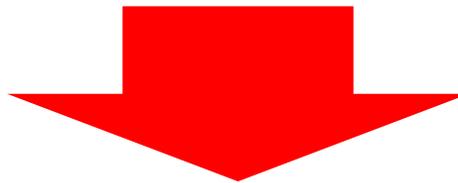
Chinese Investment (all sectors) 2008-2018



出典: The ASEAN Post, Malaysia Tells China To Keep It Coming!, <https://theaseanpost.com/article/malaysia-tells-china-keep-it-coming>

東南アジア各国と中国との関係

東南アジア各国は中国とEEZを
めぐる争いがある一方、経済的に
中国は極めて重要な国



各国がジレンマを抱えた状態

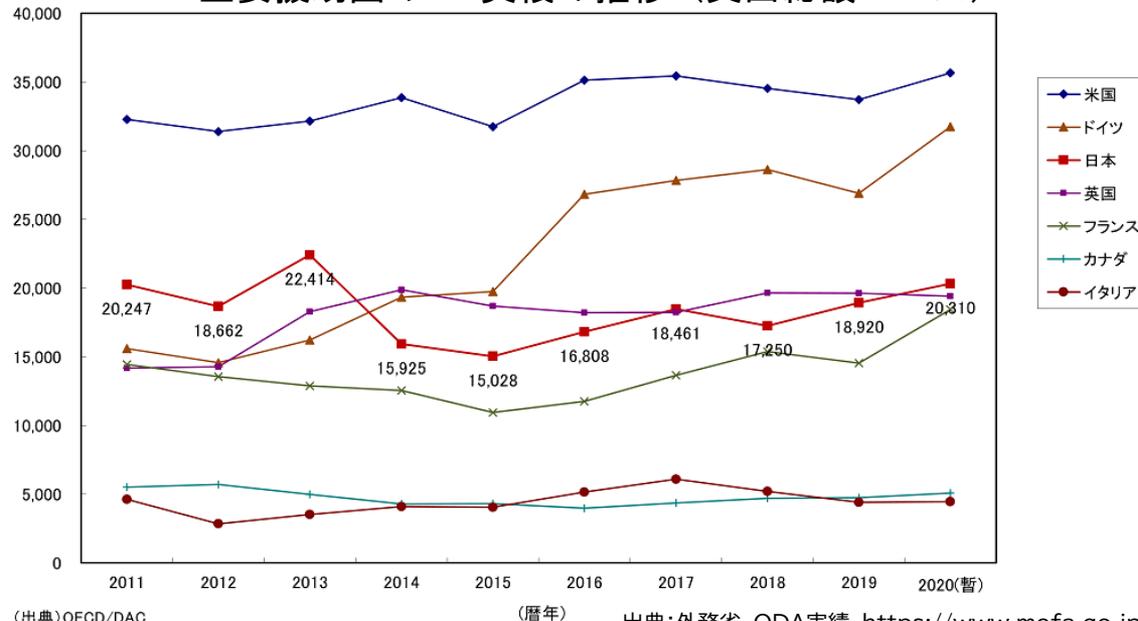
第5章 米国による支援活動

効果的な支援活動のために

現状：アメリカを筆頭に複数の国が東南アジアの国々に対する援助活動を実施

課題：支援活動の重複を排除するなど、効果的な支援実施のために協調・連携が必要

(百万ドル) 主要援助国のODA実績の推移 (支出総額ベース)



(出典) OECD/DAC
(注1) 卒業国向け実績を除く。

出典：外務省、ODA実績、<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/shiryo/jisseki.html>

米国によるフィリピン支援

出典: U.S Embassy in the Philippines, U.S. - Philippines Defense and Security Partnership, <https://ph.usembassy.gov/wp-content/uploads/sites/82/U.S.-Philippines-Defense-and-Security-Partnership.pdf>



U.S. - Philippines Defense and Security Partnership

\$771.7M

(Php36.9 billion)

The Philippines is by far the **largest recipient of U.S. military assistance in the Indo-Pacific region**. Since 2015, the United States has delivered more than **Php36.9 billion (\$771.7 million)** worth of planes, ships, armored vehicles, small arms, and other military equipment and training to the Philippines. Since 2015, the U.S. has conducted 853 ship visits to the Philippines and engaged in 1,321 bilateral military engagements alongside our Filipino allies.



\$378.2M

(Php18 billion)

Foreign Military Financing (FMF)

The Philippines is **one of the largest recipients of FMF in Southeast Asia**. Recent deliveries include eight ScanEagle drones and a C-130 to the Philippine Air Force.



\$40M

(Php1.9 billion)

Global Security Contingency Fund

For support to transition internal security responsibility from the AFP to the Philippine National Police in the southern Philippines, and development Philippine Coast Guard capabilities.



\$210.3M

(Php10 billion)

Counterterrorism

Assistance to develop and enhance AFP intelligence, sniper, night fighting, and other critical capabilities to combat terrorist threats. Recent deliveries to the AFP include tactical equipment and precision guided munitions.



\$11.6M

(Php55.6 million)

International Military Education & Training program (IMET)

The Philippines is the **second largest IMET recipient in the Indo-Pacific region**. 420 Philippine military personnel received training under IMET and other programs from 2015-2020.



\$79.3M

(Php3.79 billion)

Maritime Security

Assistance to increase the maritime domain awareness capacities of the Philippines and address maritime security challenges in Southeast Asia.

Key equipment transfers

Item	Amount	Date
C-130	\$40.4M (Php1.93B)	Feb. 2021
Sniper & Anti-IED Equipment	\$29.3M (Php1.4B)	Dec. 2020
ScanEagle Drone	\$14.7M (Php704.1M)	Nov. 2020
Advanced Missile & Targeting Systems	\$18M (Php862.2M)	Nov. 2020
Tactical Navigation (TACAN) systems	\$2.3M (Php110.7M)	Oct. 2019

米国による支援活動



出典: U.S Embassy in the Philippines, U.S., Philippine Coast Guards Conduct Joint Search and Rescue Exercise, <https://ph.usembassy.gov/us-philippine-coast-guards-conduct-joint-search-and-rescue-exercise/>



出典: U.S Department of State, Global Security Contingency Fund Assistance Helps Philippines Bolster Maritime Security, <https://2017-2021.state.gov/global-security-contingency-fund-assistance-helps-philippines-bolster-maritime-security/index.html>



出典: INDO-PACIFIC DEFENSE FORUM, U.S. donates patrol vessel to boost Vietnam's maritime security, <https://ipdefenseforum.com/2021/08/u-s-donates-patrol-vessel-to-boost-vietnams-maritime-security/>



出典: U.S Embassy in Vietnam & Consulate, Commander of U.S. Pacific Command Inaugurates Vietnam Coast Guard Boat Maintenance Facility in Quang Nam, <https://vn.usembassy.gov/commander-u-s-pacific-command-inaugurates-vietnam-coast-guard-boat-maintenance-facility-quang-nam/>

米国の安全保障支援予算

出典: Congressional Research Service Reports, U.S. Security Assistance and Security Cooperation Programs: Overview of Funding Trends (R45091), <https://crsreports.congress.gov/product/details?prodcode=R45091>

Billions of current U.S. dollars



国防総省:
94億ドル

国務省:
75億ドル

安全保障支援予算動向

米国との連携

米国との連携には、米国沿岸警備隊のみならず、米国国務省、国防総省など幅広い組織との連携が必要

第6章 まとめ(提言)

まとめ(提言)

- 中国は東南アジア各国経済にとって極めて重要
- 中国を刺激しない支援の在り方を検討する必要

そこで・・・

- ✓ 他支援実施国との連携の態様を検討
- ✓ 多国間枠組みの活用(ASEANなど)

まとめ(提言)

- 各国海上保安機関への支援活動において米国国務省・国防総省を含む関係機関との連携を検討すべきであり、そのためには我が国、外務省、防衛省、JICA等との一層の連携が必要

ご清聴ありがとうございました。